

えんがわ

第80号

2013年11月発行

発行元
衣笠病院グループ
衣笠須賀市小矢部
2-23-1
Tel 046-852-1182

フラの出会

私がまだ幼い頃、お正月に祖父母が家に遊びに来ると「正美、凧揚げに行こうか」と、近くの公園に連れて行ってくれました。遊び疲れて家に帰ると、父、母、姉の姿は無く、私がまだ幼いからといって、私を置いて3人で「ハワイ旅行」に行っていたのです。祖父母の「凧揚げに行こうか」で、何度か騙されたのを覚えています。そして、私が小学2年生の夏休みに、祖父から「正美、ハワイに行こうか！正美はまだ小さいからといって、お正月のハワイ旅行はいつもお留守番だったからなあ」と、なんとも嬉しい電話でした。数日

後、祖父母と私と3人でハワイ旅行に出かけました。ハワイってどんな所だろう？電車を乗り継ぎながら、ワクワク胸を躍らせてとつても楽しみでした。そして、着いた場所は「常磐ハワイアンセンター」でした（笑）。ハワイ？なんか違うよな〜と思いました。素敵なフラのショーを見たり、プールで遊んだり、楽しかった思い出が残っています。いつか私も綺麗な衣装を着て、生花で作ったレイや髪飾りを身に付けて踊りたいな〜と思ったことが、フラを始めるきっかけでした。これからも健康で笑って過ごせるように、楽しみながらフラを続けていきたいと思えます。

「訪問リハビリはどうすれば受けられますか？」医療・介護の現場で患者様・利用者様やそのご家族から、こんな質問をよく耳にします。またすでに訪問リハビリを提供しているお宅からは「もつと多く来てくれないの？」とのお言葉もよく頂戴します。

衣笠病院グループが訪問リハビリを提供し始めて今年で十四年が経過しましたが、いまだに需要に対する供給体制は十分といえず、地域の皆様のリクエストに応え切れていないのが実情で

えんがわ在宅 ひとくちメモ

訪問リハビリの ゆくさき

す。訪問リハビリを取り巻く制度も複雑で、介護保険・医療保険の両方からの提供が可能であり、実施する事業所も病院・診療所・介護老人保健施設・訪問看護ステーションなど多岐にわたり、利用する立場からも提供する立場からも分かりづらいものといえます。

いずれはこれらの問題が整理され「訪問リハビリステーション」として制度化されることが期待されますが、衣笠病院グループでも訪問サービスの質と量の向上を目指し、努力を続けてゆきます。

長瀬ケアセンター

作業療法士 成田拓



この時期になると岩盤浴へよく行きます。汗を大量に掻いたあと水分量くらいは体重が減っているだろうと嬉しい気持ちになり、久しぶりに体重計にのってみると…食欲の秋恐るべし。